Gcraft

取扱説明書

品名 モンキー用スーパーワイドスイングアーム ドラムハブ用

ツインショック仕様

この度はGクラフト製品をお買い上げ頂きまして有難うございます

本製品は当社製 8 インチ、10 インチ 5.5Jホイールを装着する際に使用するスイングアームです 装着の際には、この取扱い説明書を良く読んで安全に作業して下さい

! 注意事項 !

- 取付け作業は安全かつ平坦な場所を選び、車体を確実に固定、安定させてから行って下さい。メンテナンススタンド等があればより安全に作業できます。
- ノーマルパーツをはずす際、又は取付け作業にはサービスマニュアルを参考にして下さい
- この説明書に反した使用方法、取付けでの破損や損害につきまして当社は一切の保証をいたしません。
- 作業終了後は必ずボルトの増し締めをおこなって下さい、走行後も随時確認をおこなってください。
- サスペンションの長さは、ワイドサス受け(品番 30047)の取付位置上、異なりますので注意してください。
- 車体の個体差等により、ブレーキスイッチステーが干渉する場合があります。その際はブレーキスイッチステーを 曲げて、動作に必要なクリアランスを確保した上で装着するようにしてください

推奨ショック長 +10cm・・・245mm +16cm・・・265mm +20cm・・・285mm

パーツリスト

部品番号	部品名	個数	梱包状態
	スイングアーム本体	1	別途梱包
600020	チェーン引きコマ	2	別途梱包
65201 • 2	サスペンション固定用ボルト	2	別途梱包
394216	カラー(25-12.2-20)	1	別途梱包
606671	アクスルシャフト(長さ 250mm)	1	別途梱包
65237	アクスルナット	1	別途梱包
65107	六角ボルト	2	スイングアームに仮組み
65183	六角ナット	2	スイングアームに仮組み
	ブレーキロッド	1	別途梱包
65273	割りピン	1	ブレーキロッドに仮組み
65088	ワッシャー	1	ブレーキロッドに仮組み

取付け手順

- 2. パーツリストを確認してください。
- 3.シート・サイドカバー・リアの足回りを外しておきます。(外し方は、サービスマニュアルを参考にしてください。)
- 4.スイングアーム本体に、付属品のサスペンション固定用ボルトをサスペンション受け部の穴に固定します。

ボルトには、頭部が厚いものと薄いものがあります。頭部が薄い方をチェーン側、厚い方をブレーキ側に固定します。

5. ホイールにホイールスペーサー・ハブを組みます。

ハブとホイールスペーサーを固定します。

この時取り付け向きに注意してください。

スペーサーの座繰り加工が<u>ないほうから</u>ハブを差し込んでください。<u>このとき同時に、20mmオフセットスプロケットスペーサー(品</u>番 39421)をドラムハブに装着しておきます。



・純正ブレーキパネルに装着されているブレーキアームを専用ブレー キアーム(品番 32044)に変更します。

(ブレーキアームを固定しているボルト・ナットは、純正ハブに使われているものをそのまま使用してください。)



・写真のようにスペーサーを<u>ホイールの裏側(進行方向に対して左)</u>からはめて、M8-25 フランジキャップボルトと M8 フランジ付きナットで装着してください。



- 7. フレームにワイドサス受け(品番 30047)を装着しておきます。
- 8. スイングアームに組み立てたホイールを装着します。付属のアクスルシャフトを使用し、ブレーキパネル側に付属の 単純カラーをブレーキパネルとスイングアームのチェーン引きの間にいれて固定します。 ブレーキパネルにある窪みをスイングアーム側のブレーキストッパーにあわせて取付けます。





※スーパーワイドスイングアームのアクスルシャフトは、専用品を使用しています。

その時のロット、入手経路の相違などにより、ボルト本体の色が異なる場合がありますが、品質、強度に問題はありません。ご了承ください。

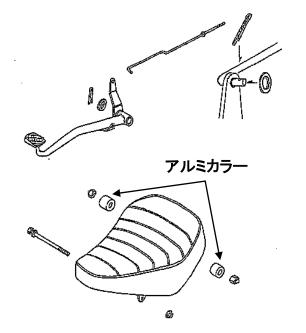
※ブレーキスイッチステーがピボットと干渉する場合は、ステーを少し曲げてから装着してください。

9. ブレーキロッドを取付けます。ブレーキペダルの先端の穴にロッドを引っ掛けて付属のピンで固定します。

ブレーキパネル側は、純正部品を使用し、純正と同じように固定します。ブレーキの効きの調整を必ず行ってください。

10. 最初に外したサイドカバー・シートを取付けます。

シートを取付ける際、サスペンションが外されているので、 シートを固定するため 30047 ワイドサス受け 20mm に付属 のアルミカラー(26-11-22mm 品番 68133)を使用して固 定します。



各部ボルトの締め付け確認と各部品の干渉が無いかを確認して作業終了です。必ずならし運転をして安全を確認した後、走行して下さい。走行前及び走行後の確認は必ず行うようにしましょう。